

# 関西学生秋季リーグ戦（10／5～6）

会場：三段池科研電機テニスコート

・女子・

< 1 日目 >

第一試合

**立命館大学③-0同志社大学**

津波古・麻田④-2白鳥・吉根

柴田④-1岸浦

渡辺・高谷④-1堀・馬淵

第二試合

**立命館大学②-1関西外国語大学**

津波古・麻田④-1小西・高橋

柴田④-3大井

渡辺・高谷3-④満留・岸本

第三試合

**立命館大学0-③関西大学**

津波古・麻田0-④永橋・太田

渡辺2-④江口

柴田・高谷1-④大村・西村

< 2 日目 >

第四試合

**立命館大学1-②神戸松蔭女子学院大学**

津波古・山住3-④藤井・安田

柴田④-2秋山

渡辺・高谷1-④石原・矢野

第五試合

**立命館大学②-1天理大学**

津波古・麻田④-3八木・小藪

柴田④-0坂口

渡辺・高谷1-④浪岡・筒井

**立命館大学 3 位（3 勝 2 敗）**

## 麻田選手（主将）



4試合に1番で出場し，3勝を上げた。  
初戦の同志社戦，0-2でリードされてからの  
逆転勝利が，今リーグの入賞に結びついた。

主将として最初の大きな大会だったが，  
新チームで臨む不安をものともせず，  
自ら活躍してチームを引っ張った。



## 津波古選手（1回生）



5戦とも1番で出場し，3勝を上げる活躍。  
柔らかいフォームで，常に相手コート  
の広いところにコントロールし，前衛  
の活躍を引き出すラリーに専念した。

福知山は津波古選手の出身地，多くの声援に  
応えて頑張った。



## 柴田選手（2回生）



シングルスで4勝をあげる活躍（ダブルスは1敗）  
安定したストロークでラリーを続け、  
フォア・バックともに角度のあるシュートボール  
が良く決まっていた。

津波古選手と同様、柴田選手も福知山出身、  
地元の声援に応える大活躍だった。





## 渡辺選手（副将）



柔らかいフォームでよくラリーしたが、  
1勝に終わった。副将として絶やさない笑顔が  
印象的だった。



## 高谷選手（1回生）



5戦とも3番で出場して1勝。  
安定したポレー・スマッシュが随所で決まっていた。  
1回生ながら、すでに、立命館大学の黒柱である。

## 山住選手（2回生）



2日目、松蔭戦の第1試合に出場、強敵に  
ファイナルと食い下がったが惜敗。



## 岩本監督



昨年秋リーグから監督としてチームを指導



4回生も全員応援に駆けつけてくれ、  
笑顔でリーグ戦を終えることができました。